

文学部（三田）ガイダンス資料

2020 年度



新型コロナウイルス感染の拡大の影響により、2020 年度は、教室に集合した形態でのガイダンスは実施しません。この資料の必要個所を精読し、間違えのないように履修登録を行ってください。



1) 4 月の学事日程

・4 月の学事日程は以下のように変更されています。履修登録期間および授業開始日に注意してください。

・5 月以降の日程は <https://www.students.keio.ac.jp/com/class/schedule/academic-calendar.html> で確認してください。

4 月の新しい学事日程

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
			1 ガイダンス中止	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
		履修登録期間・終了				
26	27	28	29	30		
				授業開始		

2)全専攻で共通の事項

※文学部の『履修案内』は、以下で参照できます。

<https://www.students.keio.ac.jp/mt/class/registration/files/d4d214e68fcb1c3f350b12e761e55543.pdf>

[第2～4学年(三田・全学年)]

・**健康診断**を必ず受講する必要があります。健康診断の実施に関するお知らせに注意してください。

・**教員免許**の取得を希望する学生は、以下を参照してください。

<https://www.ttc.keio.ac.jp/>

・**学芸員資格**の取得を希望する学生は、以下を参照してください。

<https://www.students.keio.ac.jp/mt/flet/change.html>

・「**基礎情報処理**」(三田分)・「**応用情報処理**」の履修希望者は、keio.jpのニュースを確認してください。

[第4学年]

・**在学期間延長**中の学生が今年度9月に卒業する場合には、あらためて申請が必要です。『履修案内』p.31を参照してください。

・2019年度に卒業試験(卒業論文)に合格し、2020年度春学期にその他の卒業要件を満たした者は、2020年度の「**9月卒業**」が可能です。この要件が満たされ、なおかつ9月卒業を希望する学生は、『履修案内』p.31を参照の上、申請してください(自動的に、9月卒業になりません。申請が必要です)。

3)各専攻別ガイダンス資料

・各専攻への**問い合わせ**は、必ず**メール**にて、専攻担任宛にお願いします。

専攻担任リスト:『履修案内』の最初のページを参照

連絡先メールアドレス: <http://www.flet.keio.ac.jp/faculty/index.html>

目次

【哲学専攻】.....	3
【倫理学専攻】.....	3
【美学美術史学専攻】.....	4
【日本史学専攻】.....	4
【東洋史学専攻】.....	5
【西洋史学専攻】.....	6
【民族学考古学専攻】.....	6
【国文学専攻】.....	6
【中国文学専攻】.....	7
【英米文学専攻】.....	7
【独文学専攻】.....	8
【仏文学専攻】.....	8
【図書館・情報学専攻】.....	9
【社会学専攻】.....	11
【心理学専攻】.....	11
【教育学専攻】.....	11
【人間科学専攻】.....	12

【哲学専攻】

- 履修案内の哲学専攻の箇所（54-55 頁）を必ず確認し、熟読しておいてください。
- 以下の URL に履修に関する詳細かつ重要な情報が掲載されます。
<https://keio.box.com/s/0c20w3ty061v51o31vn694t1u26dekm1>
掲載される情報は状況の変化に応じて随時更新されますので、必ず定期的に確認をしてください。

[2 年生]

- 「哲学倫理学原典講読Ⅰ・Ⅱ」（独または仏）は進級条件科目ですので、シラバスをよく確認したうえで、必ず履修をしてください。履修に関する重要な情報は上記 URL や keio.jp で告知されることがあります。なお、これらの科目はドイツ語またはフランス語の初学者でも履修が可能です（ただし、初学者は三田開講の初級者向け「ドイツ語Ⅰ・Ⅱ」または「フランス語Ⅰ・Ⅱ」をあわせて履修することが求められます）。また、いずれの語種を選ぶべきか迷った場合や、履修に関して不明な点や相談したいことなどがあれば、senji@keio.jp（田中泉史）まで連絡をしてください。
- 倫理学専攻設置の「哲学倫理学原典講読Ⅰ・Ⅱ」（英）は選択科目として扱います。必修科目には含まれませんので、注意してください。

[3 年生]

- 「哲学研究会Ⅰ・Ⅱ」（ⅠとⅡは同一担当者でなければならない）は第 3 学年で単位修得をしておかないと第 4 学年で「哲学研究会Ⅲ・Ⅳ」が履修できず、卒業ができなくなります。実質的に進級条件科目ですので、この学年での履修が求められます。
- 「哲学研究会Ⅰ・Ⅱ」は 2 組以上履修することができます。その場合、1 組を必修科目（A 欄）として履修申告し、他は選択科目（B 欄 55）として履修申告してください。

[4 年生]

- 「哲学研究会Ⅲ・Ⅳ」（ⅢとⅣは同一担当者でなければならない）と「卒業試験（卒業論文）」は卒業要件科目です。いずれかの「哲学研究会Ⅲ・Ⅳ」を履修し、卒業論文の執筆指導を受けましょう。なお、卒業論文の執筆にあたっては、早めに指導教員と相談しておくことが望まれます。
- 「哲学研究会Ⅲ・Ⅳ」の担当教員は、第 3 学年で履修した「哲学研究会Ⅰ・Ⅱ」の担当教員と同じでなくてもかまいません。
- 「哲学研究会Ⅲ・Ⅳ」は 2 組以上履修することができます。その場合、1 組を必修科目（A 欄）として履修申告し、他は選択科目（B 欄 55）として履修申告してください。
- 卒業論文は必修科目として履修する研究会の担当教員に提出することになりますので、その担当教員の「卒業試験（卒業論文）」の履修申告も忘れずに。

[重複履修科目]

- 重複履修については「履修上の注意」をよく読み、専攻担任の承認が必要な場合（同一科目名・同一担当者の場合）は速やかに専攻担任に連絡をする必要があります。

[その他]

- 授業の履修や大学生活全般についてわからないことや不安なことがあれば、なんでも専攻担任に相談をしてください。専攻担任のメールアドレスは文学部のホームページの教員一覧に掲載されています。誰に相談すればよいかわかった場合は senji@keio.jp（田中泉史）まで連絡を！

【倫理学専攻】

[2 年生]

- 以下の URL から詳細なガイダンス資料（専攻内規）をダウンロードし、よく読んで確実に履修登録を行うこと（以下、三年生以上も同様）。
<https://keio.box.com/s/mfuurnap3bsh97auvb9uqlq0ngrejo1o>
- 「学籍番号・氏名・第二外国語の語種」を本文に記載したメールを、慶應メールを使用して、4 月 14 日までに、次のアドレスに送信してください。
murakami@flet.keio.ac.jp

[3 年生]

- 必修科目として履修する研究会以外の研究会を選択科目として履修したい場合には、4 月 14 日までに担当教員にメールで許可を得ること。

[4 年生]

- 留年時の救済手段はないため、卒業に必要な科目等の確認は自らの責任でしっかり行うこと。

〔重複履修科目〕

- ・倫理学専攻設置科目のうち、単位取得済みの科目の再履修を希望する場合、授業内容が前回と異なれば許可するので、専攻担任に4月14日までに連絡すること。

〔その他〕

- ・今年度は、事前の振り分けで制限人数を上回った研究会（奈良・柘植・村上）については、他専攻・他学部の者も含め選択科目・自由科目として履修できない。
- ・以下のURLより「慶應大学倫理学専攻お知らせ（2020年4月以降）」を配信して情報更新を行うので、定期的に確認してください。

<https://keio.box.com/s/xldcngi66ddlugcung5e2mjwiup2yl8c>

【美学美術史学専攻】

※履修登録前に、必ず履修案内、講義要綱を熟読してください。

〔2年生〕

- ・以下のURLから、2年生用ガイダンス資料をダウンロードして精読し、指示にしたがってください。

<https://keio.box.com/s/gif0quew2sdkglhyx814f5qyp83mb9ma>

〔3年生〕

- ・以下のURLから、3年生用ガイダンス資料をダウンロードして精読し、指示にしたがってください。

<https://keio.box.com/s/c1cmja3rnrk65xehui9bo7sy1ffaj7e8>

〔4年生〕

- ・卒業単位を充足するよう、確実に履修登録を行ってください。

〔重複履修科目〕

- ・「芸術研究基礎Ⅰ・Ⅱ」を除く美学美術史学専攻の専門教育科目については、卒業に必要な単位として1回までの重複履修を認めます。ただし、同一科目名で担当者が同一の場合、「重複履修許可願」が必要になります。希望者は、塾生サイトの「履修上の注意」から重複履修許可願をダウンロードして記入の上、4月10日までに、以下の望月（専攻担任）のメールアドレスに送付してください。

メールアドレス moc@flet.keio.ac.jp

重複履修の取り扱いについては、履修案内 p.60 をよく読んで確認してください。

〔その他〕

- ・学芸員資格取得希望者向けガイダンスの代替措置については、別途 web ページ（塾生サイト、keio.jp）等で必ず確認してください。

【日本史学専攻】

〔2年生〕

- ・「日本史史料講読Ⅰ」のグループ分けについては以下を確認してください。
 - ▶ [2020年度日本史史料講読クラス分け及び日程（学事日程変更後）](#)

〔3年生〕

- ・4月21日（履修登録最終日）までに、ゼミ担当教員に必ず1度連絡を入れてください。
 - ※なお、十川陽一先生のメールアドレスは ysogawa@keio.jp です。

〔4年生〕

- ・卒業単位の履修漏れがないように、確実に履修登録を行ってください。

〔その他〕

- ・『履修案内』の 62・63 頁をよく読み、進級条件科目・卒業要件科目などに注意して、確実に履修登録を行ってください。
- ・指定単位数を超えて修得した必修科目は、選択科目と見なし、卒業単位に加えます。詳しくは、『履修案内』63 頁の「4 履修上の注意」の（1）を確認してください。
- ・日本史料講読Ⅰ・Ⅱと日本史研究会Ⅰ～Ⅳを除く日本史学専攻の設置科目については、卒業に必要な単位としての重複履修を認める場合があります。詳しくは、『履修案内』63 頁の「4 履修上の注意」の（2）を確認してください。
- ・中世前期の政治史に関心がある学生には、本専攻設置の科目のほかに、法学部政治学科設置の「中世日本政治史Ⅰ・Ⅱ」（担当者：下村周太郎）を紹介します。

【東洋史学専攻】

〔2 年生〕

- ・『履修案内』をよく読み、確実に履修登録を行ってください。
- ・第 2 学年において必修語学科目のうち 1 語種をアラビア語、ペルシア語、トルコ語のうちいずれか一つの語種に変更することができます（『履修案内』64 ページ「2 必修科目」を参照）。希望者は履修申告をする前に以下より「必修語学変更届」をダウンロードし、必要事項を記入のうえ学生部文学部担当窓口に提出してください。メールでの提出も受け付けますので、その場合は（mita-bun@adst.keio.ac.jp）宛に記入済みの「必修語学変更届」を添付してお送りください。
- ・東洋史講読は可能な限り第 2 学年で履修することを勧めます。

▶ [必修語学変更届](#)

〔3 年生〕

- ・『履修案内』をよく読み、確実に履修登録を行ってください。
- ・「東洋史研究会（ゼミ）」は同一担当者の科目を第 3・4 学年においてそれぞれ必修科目の単位として 2 科目ずつ 2 年連続して履修する必要があります。
- ・同一学年に複数（4 科目以上）のゼミを履修することも可能です。その際、2 科目を必修科目として履修し、残りを選択科目として履修します（『履修案内』65 ページ「各学年共通（3）」を参照）。

〔4 年生〕

- ・『履修案内』をよく読み、確実に履修登録を行ってください。

〔重複履修科目〕

- ・『履修案内』65-66 ページ「4-(2) 重複履修の取り扱いについて」とは以下の点が異なります。

4-(2)-②-B（66 ページ）

「東洋史講読ⅠA～ⅠE・ⅡA～ⅡE」, 「東洋史演習ⅠA～ⅠC・ⅡA～ⅡC」

同一科目名・同一担当者の場合でも、専攻担任の承認および「重複履修許可願」の提出は必要ありません。承認を得なくとも各科目 1 回まで選択科目として取り扱います。

4-(2)-③-B（66 ページ）

「東洋史特殊ⅠA～ⅠU・ⅡA～ⅡU」

同一科目名・同一担当者の場合でも、専攻担任の承認および「重複履修許可願」の提出は必要ありません。承認を得なくとも各科目 1 回まで必修科目ないし指定選択科目として取り扱います。

〔その他〕

- ・文学部設置（総合教育科目）のアラビア語、ペルシア語、トルコ語の各授業に加えて、言語文化研究所にも諸言語の授業が設置されています。
- ・専門教育科目に「東洋史概説Ⅸ」および「東洋史概説Ⅹ」が新設されました。
- ・履修・授業に関する教員への質問：藤木（kfujiki@keio.jp）

【西洋史学専攻】

- ・履修登録にあたっては『履修案内』、特に 68-69 ページの西洋史学専攻の「専攻別内規および注意事項」をよく読んでください。

【2 年生】

- ・進級条件科目である「西洋史学原典講読」について、人数の偏りがないようクラス分けを行います。1) 月曜 3 時限の神崎忠昭担当「西洋史学原典講読」、2) 木曜 4 時限の綾辺昌朋担当「西洋史学原典講読」、3) 木曜 4 時限の野々瀬浩司担当「西洋史学原典講読」(それぞれの内容については講義要項 Web 検索を利用して調べてください) から選んで、第 1 から第 3 までの希望順位を記し、「学籍番号・氏名」を本文に記載したメールを、4 月 7 日までに kbun.seiyoshi@gmail.com に送信してください。他に履修を希望している科目と重複している場合には、その旨を明記してください。希望者数に偏りがあった場合、また希望が提出されない場合には、専攻で配分します。結果は 4 月 12 日に keio.jp のニュースに掲載しますので、それにしたがって履修登録してください。
- ・中国語および朝鮮語を履修して、第 2 外国語としてヨーロッパ言語を履修せずに西洋史に進んできた 2 年生は、上記のメールにその旨を明記してください。改めて指示します。

【3 年生】

- ・「西洋史研究会」と「西洋史演習」は進級条件科目です。必ず第 1 回目に出席してください。

【4 年生】

- ・4 月 21 日(履修登録最終日)までに、ゼミ担当教員に必ず 1 度連絡を入れてください。
- ・卒業単位の履修漏れがないように、確実に履修登録を行ってください。

【その他】

- ・昨年度、留年した者は専攻担任あるいはゼミ担当者に必ず 1 度連絡を入れてください。
- ・「西洋史概説」は、その「I ～ VI」のすべてを修得しなければ卒業できません。

【民族学考古学専攻】

- ・以下の URL から、より詳細なガイダンス資料をダウンロードし、精読のうえ各種手続きを進めてください(PCを使用する場合は、keio.jp にログインした状態で、下記 URL をクリックしてください)。

<https://keio.box.com/s/fqcjaougca374bys4e1kam0e9m0daouf>



- ・ダウンロードした資料の最後に記された URL にアクセスし、必要事項を記入のうえ送信してください。

- ・不明な点や相談がある場合は、専攻スタッフに遠慮なく連絡してください。

【国文学専攻】

【全学年】

【事前登録について】

- ・遠隔授業などで必要となるため、全学年(2・3・4 年生)、4 月 10 日(金)までに、以下のフォームに記入してください(必ず、keio.jp からログインしてください)。

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScH7rZYylikMZGpy6pVQNbXfvfKjO6KQOXZuE9vgBAjBlw4Qg/viewform?usp=sf_link

- ・記入できない場合は、goyama@flet.keio.ac.jp(合山)まで、①氏名②学籍番号③学年④慶應メールのアドレス⑤オンライン授業を実施する場合の受講可否(Cisco の Webex や Zoom などを通じて配信される長時間の動画を自宅などで受信できるか)をご連絡ください(その他、不明点などがある場合も同様)。

(履修登録について)

- ・『履修案内』(国文は 72-74 ページ)をよく読み、確実に授業を履修してください。
- ・シラバスは、学外向けのものではなく、keio.jp 内にある詳しいものを参照し、注意事項などを見落とさないようにしてください。ただしスケジュールなどは学事日程変更以前のままです。ご注意ください。→<https://www.students.keio.ac.jp/mt/class/registration/>
- ・各授業のお知らせは、keio.jp 内の「授業支援」で行うことがありますので、よく見るようにしてください。
→<https://www.edu.keio.jp/ess2/login?lang=jp>
- ・重複履修について、履修案内 73 ページ 4- (2) ②「β. 担当者が同じ場合」は、小川剛生「国文学史Ⅰ」「国文学史Ⅱ」が重複して履修登録が可能です。

(各学年へのお知らせ)

- ・学年ごとに以下の URL から、必ず、より詳細なガイダンス資料を閲覧・ダウンロードし、十分に参照するようにしてください。

[2 年生]

- ・資料は以下にあります。<https://keio.box.com/s/kbdr06uv4wi9850yiw7l04vyhgq39qpk>
- ・特に注意すべきこと：国文学原典講読（金 2）は必ず受講してください。

[3 年生]

- ・資料は以下にあります。<https://keio.box.com/s/9trw623yhwjq5lys9subd9dtk2zn15cq>
- ・特に注意すべきこと：国文学演習を必ず 2 組は履修してください。

[4 年生]

- ・資料は以下にあります。<https://keio.box.com/s/3s9v8r5dj5c7wxbs9uk33mkaha86sxl>
- ・特に注意すべきこと：4 月 10 日（金）までに、所属したい研究会（ゼミ）の教員へメールを送ってください。所属の可否について、履修登録開始日（16 日）より前に、メールへの返信のかたちで通知しますので、必ず確認するようにしてください。

【中国文学専攻】

- ・『履修案内』をよく読み、確実に履修登録を行ってください。
- ・中文の学事連絡用メーリングリストを作成します。2 年生は、下記事項について 4 月 7 日（火）までに松倉梨恵（kurariinu-wantan@a3.keio.jp）まで連絡してください。3・4 年生は、昨年度の情報に修正が必要な場合は連絡をしてください。なお、英字・数字は半角にて統一してください。情報は専任教員が責任をもって管理します。
連絡事項：①氏名・ふりがな・学年／②郵便番号／③住所／④電話番号（2 件まで可）／⑤メールアドレス（2 件まで可）※添付ファイルで資料を送信することもあるので、携帯用のアドレスだけではなく、少なくとも 1 件はパソコン用のアドレスを申請すること。
- ・「中国語会話Ⅰ～Ⅳ」は「総合教育科目」の「系列外科目」です。「専門教育科目」ではないので、注意してください。
- ・「中国文学特殊ⅠⅡ」「中国語学特殊ⅠⅡ」「中国文化特殊ⅠⅡ」は、2022 年度以降はこれまでのように必ず隔年で A・B が開講されるとは限りません。この点に留意して履修計画を立ててください。

[重複履修科目]

- ・下の学年ですでに単位を取得した中国文学専攻設置の必修科目・選択科目を上級の学年で再度履修する場合は、科目担当者が異なる場合、8 単位まで指定選択科目として認めます。なお、履修案内には「この際、専攻担任の承認が必要である」とありますが、今年度は専攻担任の承認および「重複履修許可願」は不要です。履修登録のみおこなってください。

【英米文学専攻】

履修案内を熟読の上、疑問点があれば必ず専攻担任あるいは学生部まで問い合わせて下さい。また変更や新規の連絡は英米文学専攻のウェブページにて告知しますので、定期的にご確認下さい。

[2 年生]「英語英米文学基礎講読」については、4 月上旬に keio.jp 上で発表するクラス分けに従って履修登録をおこなってください。

【独文学専攻】

[全般]

- ・コロナウィルスの流行という状況下、オンラインで授業を行うなど、それぞれの科目の内容に対応した、特殊な形での授業が行われることが見込まれます。keio.jp で、担当教員からの連絡がないか、数日に一度は確認しておいてください。
- ・各授業の運営方法の詳細については、初回の授業（オンラインかもしれません）でそれぞれの教員からお伝えします。
- ・例年と異なる学生生活になるかもしれません。問題や困難が生じた時には、独文のどの教員でも結構ですから、随時相談してください。

[2年生]

- ・「ドイツ語Ⅲ」「ドイツ語Ⅳ」のうちひとつは自動的に川島建太郎君の指定クラスになります。

[3年生]

- ・進級条件科目はありませんが、卒論を作成するゼミナールは3・4年次に連続して履修することが原則ですから、それを考慮しつつ選択するようにしてください。

[4年生]

- ・卒業単位の履修漏れがないように、確実に履修登録を行ってください。

[その他]

- ・『履修案内』の82・3頁をよく読み、「進級条件科目」・「学年推奨科目」・「卒業要件科目」などに注意して、確実に履修登録を行ってください。

【仏文学専攻】

[2年生]

まず、『履修案内』の仏文学専攻のページを熟読してください。2年生の時間割を構成するのは、主に以下3種類の科目です。

①「基礎コース」の科目 ②必修語学 ③「仏文学専攻の専門の選択必修科目」（研究会は含まない）、及び「大学設置の専門教育科目」以下、注意点です。

- ・①の「基礎コース」のうち、「フランス語学演習Ⅰ・Ⅱ」、「フランス語表現演習Ⅰ・Ⅱ」、「フランス語表現演習Ⅲ・Ⅳ」は、X・Y・Zにクラス分けされ、曜日・時限が指定されていますので、必ずそのクラスを履修してください。**クラスの変更はできません。また春学期・秋学期とも必ず同じクラスを履修してください。**★上級者は下の注1）を参照してください。

- ・②「必修語学」のうち、「フランス語ⅢA・ⅣA」は水1の仏文学専攻指定クラスを履修してください（但し、一年次仏語Ⅰ・Ⅱ（上級）クラス履修者は土2の上級クラスを履修してください）。「フランス語ⅢB・ⅣB」はいずれの場合も自由選択です。

- ・「選択必修」のうちの講義科目（「フランス文学と近代Ⅰ～Ⅳ」、「フランス文学と現代」、「フランス文学史Ⅲ・Ⅳ」、「フランス語学Ⅰ・Ⅱ」）は2年生も積極的に履修してください。

- ・「選択必修」のうちの演習科目（「フランス語学演習Ⅲ～Ⅷ」、「フランス語表現演習ⅤA～ⅧIB」、「フランス文学演習ⅠA～ⅣB」）の中には、フランス語学習歴2年以上のレベルが必要とされるものもあります。シラバスを熟読したうえで、履修に不安がある場合などは、その授業を担当する教員にメールで問い合わせてください。

- ・卒業までに必修科目は40単位、選択科目は36単位以上の修得が必要ですので、**2年生のうちから③は多めに履修しておく**とよいでしょう。

- ・（補足）3年への進級には①「基礎コース」30-12-11の語学系演習科目のうち5単位以上の修得（卒業までには必ず6単位を修得）および、②必修語学科目2科目（4単位）の単位習得が必要です。

- ★注1）一年次に「フランス語Ⅰ・Ⅱ（上級）」を履修した2年生はY組に振り分けてありますが、履修登録は次のように行ってください。（J）は「上級」を表します。

- ・「表現演習Ⅰ・Ⅱ」→木4「表現演習Ⅰ・Ⅱ（J）」（＝「表現演習ⅥIB・ⅥIIB」）
- ・「表現演習Ⅲ・Ⅳ」→月3「表現演習Ⅲ・Ⅳ（J）」（＝「表現演習ⅦA・ⅦIA」）
- ・「語学演習Ⅰ・Ⅱ」→金5「語学演習Ⅰ・Ⅱ（Y）」

[3年生]

【重要 ゼミの振り分けについて】

- ・3年生および4年生はウェブ上で志望票を提出してください。振り分け作業後、結果もウェブ上で発表します。

- ・以下のリンク先にアクセスし、指示に従ってください。

<https://sites.google.com/keio.jp/balzac>

- ・入力期間：4月1日（水）～10日（金）

- ・結果発表：4月17日（金）〔上記リンク先〕

- ・なお、片木研究会は2021年度は開講されません。3、4年で同一教員の研究会を希望する場合は注意してください。

[4年生]

- ・【重要 ゼミの振り分けについて】→上記参照

【その他】

● 外国語教育研究センター特設科目(三田)の履修のすすめ

外国語教育研究センターには、「フランス語表現技法 3(I)・3(II)」(DELTA A1・A2 対応クラス)、「フランス語表現技法 4(I)・4(II)」(DELTA B1・B2 対応クラス)、「フランス語表現技法 5(I)・5(II)」(DALF C1・C2 対応クラス)のような、ネイティブ教員のクラス(定員制)が設置されています。留学を考えていたり、実用フランス語能力の向上を目指している学生は積極的に履修してください。

● 3・4年生の皆さんへ 研究会(ゼミ)の変更について

原則として春学期・秋学期とも同じゼミを継続して履修することが望ましいですが、学問的理由などの正当な理由で秋学期からゼミの変更を希望する学生は、秋学期の履修申告前に申請期間を設定しますので、手続きをしてください。その日程や方法については9月上旬までに学生部を通じて案内を出します。仏文学専攻の教員で議論したうえで変更の可否を決定します。

● 留学を考えている皆さんへ

(注意！) 新型コロナウイルス(COVID-19)の感染拡大が世界的規模になっています。以下の指示は、2020年3月末現在のものですが、国内外の状況が刻々と変化していますので、各自で現地の安全情報を集めたり、専攻担任と相談したりするなど、例年以上に注意して準備を進めてください。

I. 2020年度秋学期からの交換留学生として内定している皆さんへ

慶應義塾大学での2020年度の履修登録について

1. 4月の履修登録に際しては、**春学期のみならず秋学期についても慶應義塾大学で勉学を続けている前提で、履修登録をしてください。**履修登録の時点で、留学が認められているわけではない(後日、教授会の承認が必要)ので、履修登録提出に際してエラーが出ます。
2. 特に留学期間を慶應義塾大学での在学期間に算入し、4年で卒業することを希望する皆さんは、**出発前に卒業に必要な単位をできるだけ取得するように努めるなど、履修計画についてよく考え、帰国後に慌てることのないように気をつけてください。**留学先で履修した科目の単位は、帰国後に慶應義塾大学での卒業に必要な単位として認定される場合があります。ただし、認定に際しては、履修時間や授業内容、成績について教授会での協議に付せられます。つまり、必ずしも認定が約束されているわけではないことを肝に銘じてください。

派遣先の大学への書類提出

各自で派遣先となっている大学の求める書類(語学能力を証明する書類、履修登録に関わる書類など)については、提出締め切りをよく確認し、時間に余裕を持って準備してください。特に教員の署名が必要な書類については、教員がすぐに対応できない場合もありますので十分気をつけてください。また、公的な語学能力証明書の提出が求められている大学に留学予定の者は、各自で検定試験(DELTA/DALF、TCF、仏検など)を受験し、証明書を取得してください。現時点では、慶應義塾大学の交換派遣留学候補生であり、受け入れ先での受け入れ許可が下りるまでは、留学が必ずしも約束されているわけではありません。受け入れ審査に関わる書類については、不備のないよう注意してください。

出発に際して

出発に際して、慶應義塾大学文学部に提出する書類(「国外留学申請書」など)については、専攻担任と相談しながら、時間に余裕を持って準備してください。

留学先で取得した単位の認定について

留学先で履修した科目の単位を、帰国後に慶應義塾大学での卒業に必要な単位として認定されることを希望する者は、当該科目の学習成果を必ず保管してください。成績表だけでなく、授業中に持ったノート、レポート、試験の答案(担当教員から返却されている場合)も単位認定に必要になります。

帰国後

1. 帰国する(した)際は、その旨、まず専攻担任に連絡してください。専攻担任と相談しながら、在学期間算入願いや単位認定の書類作成・提出、復学に際しての履修登録を早急に進めるためです。なお、在学期間算入願いは、復学する学期の履修登録前に提出してください。
2. 復学し、履修登録を行う前に、所属を希望する研究会の指導教員に、その旨必ず連絡してください。

II. 2021年度以降留学を希望する皆さんへ

1. 国際センターで慶應義塾大学との提携校をはじめとする情報が得られます。選考時期や必要な書類などを中心に、各自で情報を積極的に入手してください。
2. 交換留学生として選ばれるためには一定の語学能力を有することが条件となります。そのレベルは大学によって異なりますが、少なくともB1(仏検2級)レベルが求められます。フランス語の検定試験の実施回数は少なく、定員制のものもあります。こうした試験の実施時期についてもしっかり情報を集め、受験するようにしてください。
わからないことがあれば、専攻担任を中心に、仏文学専攻の教員に質問してください(メール可)。

【図書館・情報学専攻】

【2年生】

『履修案内』(専攻に関わる内容はp.88-89)をよく読み、履修登録を行ってください。履修登録に際して必要な情報は別にダウンロードする必要があります。以下の「2. 履修登録に際して必要な情報」に記載された方法でアクセスし入手してください。

1. 履修に関する注意点

・専攻必修科目のうち、「図書館・情報学文献研究 I,II」,「情報メディア基礎 II」,「情報管理基礎 II」については、クラス分けされます。「専攻必修科目クラス分けのリスト」は「2. 履修登録に際して必要な情報」の中に含まれています。割り当てられたクラスの授業科目と必修語学の時限が重なっている場合には、

4月7日までに、専攻担任へ連絡してください。連絡先は「クラス分けのリスト」の下部に記載してあります。

・「図書館・情報学文献研究 I」の初回テキスト（シラバス参照）は、図書館の KOSMOS を通じてリモートアクセスできる電子ジャーナルに掲載されているので、各自で入手し、初回の授業までに予習してきてください（初回の予習箇所は p. 41 左コラムの 17 行目まで（"... that relationship with us."まで）とします）。各自で文章の日本語訳を作成し、わからない専門用語（例えば、p. 39 の最後にある outreach など）は指定の参考書『図書館情報学用語辞典』で調べるなどして、授業で発表できるように準備すること。

・専攻必修科目 8 科目は 2 年次のうちに全て履修するようにしてください。

・「その他の専門科目」（「授業科目系列表」の「本大学設置（学部学則第 35 条 3 項参照）の専門教育科目」）24 単位は 2 年次のうちに履修することが重要です。

・総合教育科目も 2 年次のうちにできるだけ履修し終わるようにしましょう。

・2 年次では、専攻専門教育科目のうち、2 年必修科目しか履修できません（3・4 年生の科目は履修できません）。

・教員免許の取得を希望している場合、教職科目の教科「情報」が、専攻のいくつかの科目が重なっているのとおりやすくなっています。

・不明な点は専攻担任まで連絡してください。今年度の専攻担任は、安形麻理、谷口祥一、松本直樹、宮田洋輔となります。

・随時メーリングリストで連絡をしますので、keio.jp メールを定期的に見るようにしてください。

2. 履修登録に際して必要な情報

・keio.jp から授業支援システムに入り、左端の「教材（塾内公開）」を選択し、春学期の谷口祥一先生（配布者）の「情報管理基礎 II C」という科目を選んでください。そこに以下のファイルがあります。

1) 専攻必修科目クラス分けのリスト（必修語学科目と重なった際の措置についても説明があります）

2) 連絡先の登録方法（メーリングリストを作成して専攻からみなさんに連絡をできるようにします）

4月7日までに登録を済ませてください

〔3 年生〕

履修に関する注意点

・『履修案内』（専攻に関わる内容は p.88-89）をよく読み、履修登録を行ってください。

・履修登録前に必ずコース登録を済ませてください（4月7日まで）。コースの登録結果発表に基づいて履修登録をしてください。登録方法の詳細はメーリングリストでお知らせします。

・司書資格を取得したい場合には、『履修案内』の【第 3 学年】の説明をよく読んでください。

・春学期半ばに研究会（「図書館・情報学研究法」）の志望票を出してもらいます。説明会はありませんが、各研究会の詳細はメールで通知します。研究会とコースは連動していないので、他のコース担当の教員を指導教員とすることも可能です。春学期にいろいろな教員の授業を幅広くとっておくことをお勧めします。2020 年度に研究会を担当するのは、倉田敬子、谷口祥一、岸田和明、松本直樹です。

・随時メーリングリストで連絡をしますので、keio.jp メールを定期的に見るようにしてください。

・不明な点は専攻担任まで連絡してください。今年度の専攻担任は、安形麻理、谷口祥一、松本直樹、宮田洋輔となります。

・専攻 2 年必修科目のうち、「図書館・情報学文献研究 I,II」,「情報メディア基礎 II」,「情報管理基礎 II」のいずれか一つでも再履修が必要な人は、クラス分けの情報を確認し、正しく履修登録してください。クラス分けの情報は、この文書の〔2 年生〕向けの説明「2. 履修登録に際して必要な情報」の中に含まれています。

〔4 年生〕

履修に関する注意点

・『履修案内』（専攻に関わる内容は p.88-89）をよく読み、履修登録を行ってください。

・「図書館・情報学研究会 I・II」ならびに「卒業試験（卒業論文）」は必ず履修してください。

・卒業論文の中間発表は秋（例年 9 月）、提出は 12 月 23 日です。

・これまでの取得単位を計算して、確実に卒業要件を満たすよう履修登録してください。

・随時メーリングリストで連絡をしますので、keio.jp メールを定期的に見るようにしてください。

・不明な点は専攻担任まで連絡してください。今年度の専攻担任は、安形麻理、谷口祥一、松本直樹、宮田洋輔となります。

・専攻 2 年必修科目のうち、「図書館・情報学文献研究 I,II」,「情報メディア基礎 II」,「情報管理基礎 II」のいずれか一つでも再履修が必要な人は、クラス分けの情報を確認し、正しく履修登録してください。クラス分けの情報は、この文書の[2 年生]向けの説明「2. 履修登録に際して必要な情報」の中に含まれています。

【社会学専攻】

1 履修上の注意【2、3、4 年生共通】

- ・『履修案内』をよく読み、確実に履修登録を行ってください。
- ・必修科目について。3つの概論（社会学概論・社会心理学概論・文化人類学概論）は2年次必修の進級条件科目です。社会学史と社会調査は卒業までの必修科目です。社会調査はⅠ～Ⅵのうち、いずれか4つを卒業までにとる必要があります。
- ・卒業論文コースと卒業試験コースについて。卒業論文コースは社会学専攻の研究会に所属して卒論を提出するコースです。卒業試験コースは社会学専攻の研究会に所属せず卒業試験を受けるコースです（後述の詳細を参照のこと）。

2 入ゼミ選考について【2 年生】

入ゼミ選考スケジュールは下記の通りです。

- ・10 月下旬頃、社会学概論（もしくは他の概論）の時間に教員による入ゼミ説明会があります。
- ・同時期に keio.jp のニュース欄に各ゼミごとの募集要項が掲出されます。
- ・三田祭の前後の期間に各ゼミごとでオープンゼミが実施されます。
- ・12 月初旬頃に入ゼミ志望票（志望者は全員提出必須）の提出があります。
- ・12 月から1 月にかけてゼミごとに選考が行われます。
- ・なお、新型コロナウイルスの感染拡大のために、例年とは異なる可能性があります。

3 卒業試験コースについて【該当者のみ】

卒業試験コースを選択する場合の履修上の注意は下記の通りです。

- ・4 年次に選択必修科目を4 単位以上履修・修得する必要があります。春・秋のいずれかに固めることも可能です。また履修済み科目を自由科目として重複履修することも可能です。
- ・卒業試験を受ける必要があります。これは【各科目の期末試験とは別物】ですので、ご注意ください。例年、2 月初旬頃に実施されます。詳細は12 月末頃に掲示の予定です。
- ・2020 年度の卒業試験対象科目については掲示をご確認ください。
- ・4 年次にとる選択必修科目と卒業試験で選ぶ科目とは、紐づけされておらず、必ずしも同じでなくてもかまいません。（ただ一般的には、4 年次にとる科目と卒業試験で選ぶ科目を同一にした方が、試験の準備がしやすいものと考えられます。）

【心理学専攻】

1) 全学年、ガイダンス資料を下記アドレスから取得し、それを参照しながら、文学部履修案内を精読してください。

<https://keio.box.com/s/pmf70hftyquxzka05tz3g7sfixiu4k1>

2) 全学年、4 月7 日までに、以下の Google フォームにアクセス（keio.jp のアカウント認証が必要です）して、学年、氏名、確実に連絡のつくメールアドレスを回答してください（研究室からのお知らせなどに使用します）。

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSfrC84Xw6UTFzuFcBQZaYzoaaYfq-PBnBYDXc9T23ggVp1Qmw/viewform?usp=sf_link

3) 専攻担任（大森貴秀）のメールアドレスは以下のとおりです。

omori@flet.keio.ac.jp

[3 年生]

指導教員（所属研究会）については、上記で回答したアドレスへのメール等でお知らせします。指導教員の情報は履修申告に不可欠ですので、期限内に必ず回答してください。

【教育学専攻】

[2 年生]

- ・教育学原典講読のクラス分けについて keio.jp に発表しますので各自確認して下さい。成績評価や講義の進め方などについて説明があるので、初回の講義(オンラインの場合もあります)には必ず出席して下さい。初回講義に出席せず、学生が不利益を被ることがあっても専攻では一切責任を負いません。体調不良やインターネット環境などの事由により初回の講義に出席できない学生は、無理をせず、専攻担任(山梨、渡邊)に理由を添えてメールで連絡すること。

[3 年生]

- ・今年度は教育心理学分野を担当する安藤と藤澤の演習は開講されませんが、教育心理学に関わる内容を学習したい場合は、教育学専攻設置科目である教育学特殊ⅢⅢ,ⅣⅣ,ⅤⅤ,ⅥⅥや教育測定・実験、教育学研究法ⅠⅠ,ⅡⅡ、教育学文献研究ⅢⅢ,ⅣⅣ、あるいは他専攻の関連科目を積極的に履修してください。また教育心理学的なテーマを卒業論文にとりあげたい場合は、所属した演習の担当教員と相談してください。希望があれば、安藤がゼミ担当教員の指導方針を尊重しながら、メールや面接にて個別に相談に応じます。

【人間科学専攻】

[全学年]

- ・以下の URL 先から、ガイダンス資料をダウンロードし、精読してください。

https://docs.google.com/presentation/d/1QQO7ngpAan9SgD8_QfSE-ojWr9XveMp95mA-KexnKZU/export/pdf

- ・『履修案内』をよく読み、確実に履修登録を行ってください。

- ・4 月 10 日（金）までに必ず以下の URL 先にアクセスしてください。アクセス先では、①オンライン・オンデマンド授業に関する質問に答えてください。また、②ガイダンス資料等への質問がある場合は、その内容も記載してください。そして、③履修申告等について質問事項が生じることがありますので、氏名、学籍番号、メールアドレス（日常的に確認するもの）を記載してください。

<https://forms.gle/oXrn3SauA3gnQ1566>